

大学スポーツ振興の推進（立命館大学の取組）

○大学横断的組織として関西コンソーシアムの検討

2016年度より行われてきた大学スポーツ振興関西地区検討会を下地としつつ、コンソーシアムの円滑な運営を行える組織整備を進める。

本事業において本学が中心的な役割を果たしながら適切な組織を整備する。事業終了後は、加盟大学から年会費を徴収し、これを基にしてコンソーシアムが独立組織として安定的に運営できるようにすることを目指す。

また、コンソーシアムとの連携の中で日本版NCAAにかかる学産官連携協議会への貢献を進めるとともに、関西の大学連合として我が国の大学スポーツの価値向上への取り組みを進める。

○スポーツ活動と学修活動の両面の高度化に資する取り組みの支援

学生それぞれが個別の夢や課題を抱え、目標、能力、意欲も異なるという現状において、学生「一人ひとり」が最大限の「成長」を遂げられるよう学びの主体として「自立」していくための学生支援としてSSP(Student Success Program)の推進をサポートする。正課・課外活動で時間的制約が厳しい体育会学生に対して積極的な利用を促す仕組みとなることを期待する。具体的には、練習が休みである曜日などを活用し、体育会学生のアセスメントを実施、セルフマネジメントにおける長所と課題を洗い出し、学生本人とも共有する。

学生自身に長所と課題を自覚させることにより、課題克服に向けた支援の活用を促進する。これらのうち体育会アスリートに限って実績データを収集、傾向を分析した上で、効果的なモデルを検討する。

○大学スポーツアドミニストレータの配置による価値向上

大学スポーツ振興の主役となる学生を中心とした『大学スポーツの価値向上』を目標設定とする。そのためのアプローチとして

- ①体育会学生のスポーツと学業の両立や人間力等の内面の力量形成に向けて取り組むこと(絶対的な価値向上)と
- ②体育会学生の活動が一般学生やその家族、地域住民のスポーツへの意識を高め、スポーツ実施への促しになるとともに体育会活動へのファンを増やすこと(相対的な価値向上)

の2つを柱として展開する。

大学スポーツの振興を支える大学スポーツアドミニストレータ(SA)配置により、ステークホルダーの有機的な連関が促進することを企図する。

SA配置により大学スポーツの価値向上を促進させるイメージ図

